平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年２月４日

上場会社名　　新京成電鉄株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　9014　　ＵＲＬ　http://www.shinkeisei.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）笠井　孝悦
問合せ先責任者　（役職名）財務戦略部長　　（氏名）吉川　邦彦　　ＴＥＬ　047-389-1124

四半期報告書提出予定日　　平成25年２月８日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	14,704	0.4	2,638	8.1	2,549	11.3	1,578	34.5
24年３月期第３四半期	14,650	△2.5	2,441	7.6	2,291	8.3	1,173	△0.5

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　1,808百万円（26.8%）　24年３月期第３四半期　1,426百万円（32.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	28.73	－
24年３月期第３四半期	21.36	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	66,336	27,938	42.1
24年３月期	65,797	26,406	40.1

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　27,938百万円　24年３月期　26,406百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	2.50	－	2.50	5.00
25年３月期	－	2.50	－		
25年３月期（予想）				2.50	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

3.平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,474	△0.5	2,886	△2.5	2,817	△1.1	1,678	8.9	30.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	有
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	有
④　修正再表示	：	無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	55,116,142株	24年３月期	55,116,142株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	177,125株	24年３月期	173,314株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	54,940,712株	24年３月期３Ｑ	54,945,154株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、[添付資料]３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に、緩やかな回復基調がみられたものの、海外景気減速の影響や雇用情勢の厳しい状況など、依然として先行き不透明なまま推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制のさらなる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに経営基盤の強化並びに効率化に努めました。

その結果、営業収益は14,704百万円（前年同期比0.4%増　54百万円）、営業利益は2,638百万円（前年同期比8.1%増　197百万円）、経常利益は2,549百万円（前年同期比11.3%増　257百万円）、四半期純利益は1,578百万円（前年同期比34.5%増　404百万円）となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

運輸業

鉄道事業では、元山駅のエレベーター設置工事及び耐震補強工事を実施しましたほか、車両１編成（６両）を省エネルギー・快適性の向上を図ったＮ800形に代替いたしました。

旅客サービスにかかる一層の向上策として、車内混雑の緩和及び利便性の向上を図るため、ダイヤ改正を実施しましたほか、車両に自動放送装置の設置をすすめました。

安全輸送確保の取り組みとして、踏切事故防止を図るため、諸施設の新設・更新工事を行いましたのをはじめ、降雪時のポイント凍結を防止するため、電気融雪器の設置をすすめましたほか、車両に運転士異常時列車停止装置の設置及び戸閉保安装置の更新工事を引き続き実施いたしました。

また、高根木戸駅に遠隔監視システムの導入をすすめ、駅業務の効率化を図りました。

鎌ケ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、引き続き早期完成を目指し工事をすすめております。

営業面につきましては、沿線健康ハイキングを実施しましたのをはじめ、行楽施設の前売券や企画乗車券等の発売を行いました。また、北習志野駅及び新津田沼駅に、大型液晶ディスプレイにより広告や各種情報を表示する電子広告媒体「デジタルサイネージ」を設置しましたほか、開業65周年を記念して各種イベントを開催するなど、旅客誘致並びに増収対策に努めました。

バス事業の一般乗合輸送につきましては、環境や高齢者などに配慮した車両への代替を20両実施しましたのをはじめ、船橋新京成バス株式会社及び松戸新京成バス株式会社が乗り換え接続の改善を図るため、ダイヤ改正を行いましたほか、松戸新京成バス株式会社において、沿線施設の開業にあわせ、運行経路を新設し、利便性の向上を図りました。

営業面につきましては、旅客誘致並びに増収に向けた継続施策として特殊割引定期券を各種発売いたしました。

以上の結果、営業収益は11,875百万円(前年同期比2.1%増 240百万円)となり、営業利益は1,408百万円(前年同期比16.9%増 203百万円)となりました。

不動産業

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の向上に努めましたほか、賃貸施設の保全工事を実施いたしました。

平成23年９月より建設工事をすすめておりました北習志野駅の新規賃貸施設「エキタきたなら」が、８月１日に開業いたしました。

以上の結果、営業収益は2,388百万円(前年同期比0.5%増 11百万円)となりましたものの、営業利益は1,181百万円(前年同期比1.2%減 14百万円)となりました。

その他

駅売店業等では、電子決済システムを導入し、利便性の向上を図りましたが、売上の減少傾向に歯止めがかからず、厳しい経営環境の中での営業活動になりました。

また、自動販売機による飲料の販売業務につきましては、各ベンダーとの契約を見直し、従来の飲料買取方式から手数料収受方式に変更いたしました。これにより、営業収益は従来の方式に比べて185百万円の減少となりましたが、営業利益に及ぼす影響はありません。

以上の結果、営業収益は569百万円(前年同期比25.8%減 198百万円)となりましたものの、営業利益は28百万円(前年同期比41.9%増 ８百万円)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、建設仮勘定及び繰延税金資産の減少等がありましたものの、現金及び預金並びに投資有価証券の増加等により前連結会計年度末に比べ538百万円（前期比0.8％増）増加し、66,336百万円となりました。

負債は、前受金の増加等がありましたものの、未払金及び長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ994百万円（前期比2.5％減）減少し、38,397百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末に比べ1,532百万円（前期比5.8％増）増加し、27,938百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、第３四半期連結累計期間までの実績を踏まえ、平成24年10月30日発表の予想数値を変更しております。

営業収益につきましては、不動産業において分譲土地の一括売却計画を本年度見送ったこともあり、19,474百万円（前回予想比4.1％減）を見込んでおります。

営業利益につきましては、分譲土地において一部評価損を計上したこともあり、2,886百万円（前回予想比1.6％減）を見込んでおります。

この結果、経常利益につきましては2,817百万円（前回予想比1.6％減）、当期純利益につきましては、特別損失において、連続立体交差化工事に伴う除却費用を計上したことから1,678百万円（前回予想比8.4％減）を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ11,639千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,895,750	3,390,057
売掛金	1,005,699	905,418
商品及び製品	34,068	29,235
分譲土地建物	2,958,079	2,958,079
原材料及び貯蔵品	248,546	246,799
繰延税金資産	278,367	151,921
その他	150,056	139,923
流動資産合計	7,570,568	7,821,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,644,937	20,864,833
機械装置及び運搬具（純額）	5,367,121	5,609,824
土地	9,338,211	9,339,241
建設仮勘定	16,779,006	16,547,038
その他（純額）	1,047,948	767,493
有形固定資産合計	53,177,225	53,128,430
無形固定資産		
その他	289,296	261,601
無形固定資産合計	289,296	261,601
投資その他の資産		
投資有価証券	4,365,008	4,694,062
繰延税金資産	121,962	82,643
その他	273,660	347,856
投資その他の資産合計	4,760,631	5,124,561
固定資産合計	58,227,153	58,514,593
資産合計	65,797,721	66,336,027
負債の部		
流動負債		
買掛金	829,114	617,579
短期借入金	3,762,900	3,800,580
未払金	1,930,003	685,390
未払法人税等	510,556	396,815
前受金	13,178,136	14,483,661
賞与引当金	430,598	160,015
その他	2,300,901	2,328,717
流動負債合計	22,942,211	22,472,758
固定負債		
長期借入金	11,452,730	10,789,470
退職給付引当金	2,235,219	2,372,368
その他	2,761,430	2,762,886
固定負債合計	16,449,379	15,924,724
負債合計	39,391,590	38,397,483

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,511	4,774,511
利益剰余金	14,391,226	15,694,872
自己株式	△63,782	△65,120
株主資本合計	25,037,895	26,340,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,368,235	1,598,339
その他の包括利益累計額合計	1,368,235	1,598,339
純資産合計	26,406,130	27,938,543
負債純資産合計	65,797,721	66,336,027

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
営業収益	14,650,066	14,704,340
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	11,382,948	11,249,577
販売費及び一般管理費	825,824	815,894
営業費合計	12,208,773	12,065,471
営業利益	2,441,292	2,638,868
営業外収益		
受取利息	331	331
受取配当金	41,371	42,397
車両売却益	7,383	36,665
持分法による投資利益	2,783	7,609
その他	48,161	42,648
営業外収益合計	100,031	129,653
営業外費用		
支払利息	242,151	215,857
その他	7,387	2,944
営業外費用合計	249,539	218,802
経常利益	2,291,784	2,549,719
特別利益		
工事負担金等受入額	48,134	155,936
特別利益合計	48,134	155,936
特別損失		
固定資産圧縮損	48,134	155,749
投資有価証券評価損	23,270	－
退職給付制度終了損	138,217	－
特別損失合計	209,621	155,749
税金等調整前四半期純利益	2,130,296	2,549,906
法人税、住民税及び事業税	763,906	876,703
法人税等調整額	193,003	94,853
法人税等合計	956,909	971,556
少数株主損益調整前四半期純利益	1,173,387	1,578,350
四半期純利益	1,173,387	1,578,350

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,173,387	1,578,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	251,249	227,397
持分法適用会社に対する持分相当額	1,554	2,706
その他の包括利益合計	252,803	230,104
四半期包括利益	1,426,190	1,808,454
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,426,190	1,808,454
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	11,634,646	2,331,852	13,966,498	683,568	14,650,066	－	14,650,066
セグメント間の内部営業収益又は振替高	791	44,979	45,770	84,102	129,873	△129,873	－
計	11,635,437	2,376,831	14,012,269	767,670	14,779,939	△129,873	14,650,066
セグメント利益	1,204,853	1,196,613	2,401,467	20,237	2,421,705	19,587	2,441,292

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駅売店業等であります。
２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	11,859,877	2,358,354	14,218,232	486,107	14,704,340	－	14,704,340
セグメント間の内部営業収益又は振替高	15,621	30,449	46,071	83,554	129,625	△129,625	－
計	11,875,499	2,388,804	14,264,303	569,661	14,833,965	△129,625	14,704,340
セグメント利益	1,408,852	1,181,851	2,590,704	28,725	2,619,429	19,439	2,638,868

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、駅売店業等であります。なお、当該区分に含まれております自動販売機による飲料の販売業務につきましては、各ベンダーとの契約を見直し、従来の飲料買取方式から手数料収受方式に変更いたしました。これにより、営業収益は従来の方式に比べて185,198千円の減少となりましたが、セグメント利益に及ぼす影響はありません。
２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。